



医者の僕が 認知症の母と過ごす 23年間のこと

著／森田 豊

1963年東京都台東区生まれ。医師、医療ジャーナリスト。
秋田大学医学部、東京大学大学院医学系研究科を修了、米国ハーバード大学専門講師等を歴任。
現役医師として医業に従事し、テレビ朝日系『ドクターX～外科医・大門未知子～』の医療監修を行うなど、種々のメディアや講演等で幅広く活躍中。

認知症の母と23年間向き合ってきた
現役医師が伝えたい、家族と自分のために
考える認知症への備え

認知症患者の家族としての経験を綴るとともに、

著者が感じた認知症の予防や対策についても記述。

【目次】

序章 それは振り込め詐欺から始まった
第1章 忘れる、怒る、無頓着になる。
我が家を襲った認知症という嵐
第2章 検査は絶対、「いたしません！」

第3章 なぜ、しっかり者で社交的な母は
認知症になったのか
第4章 母、「人」によって蘇る
第5章 僕なりに考える、認知症の予防と
対策
第6章 医師として考えること、息子とし
て思うこと

貴店番線印

注文

医者の僕が
認知症の母と過ごす
23年間のこと

冊

四六判 224P 本体1,300円 ISBN978-4-426-12812-8 自由国民社